

- (Real-Time Tissue Elastography)の有用性について、第52回社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会、名古屋市、2007年9月29-30日。
- 15) Taira S, Hayashi T, Sawaura K, Nishiyama H, Nikkuni Y, Saito M, Hoshina H, Shingaki S: Clinical significance of Real-Time Tissue Elastography in the evaluation of cervical lymph node metastases in patients with oral cancer. 89th AAOMS Annual Meeting, Scientific Sessions and Exhibition in conjunction with the Japanese Society of Oral and Maxillofacial Surgeons and the Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, Honolulu, Hawaii, 2007. 10. 8-13.
 - 16) 林 孝文, 五十木裕子, 佐久間久美子, 新国 農, 斎藤美紀子, 田中 礼, 平 周三, 小山純市, 勝良剛詞, 西山秀昌: 上顎犬歯根尖部のCT解剖. NPO 法人日本歯科放射線学会第12回臨床画像大会, 柏市, 2007年10月18-20日。
 - 17) 新国 農, 西山秀昌, 林 孝文: MRIにて側頭筋炎と診断した顎関節症の1例. NPO 法人日本歯科放射線学会第12回臨床画像大会, 柏市, 2007年10月18-20日。
 - 18) 斎藤美紀子, 勝良剛詞, 田中 礼, 小山純市, 平 周三, 西山秀昌, 新国 農, 林 孝文, 五十木裕子. 上顎骨に発生した神経鞘腫の1例. NPO 法人日本歯科放射線学会第12回臨床画像大会, 柏市, 2007年10月18-20日。
 - 19) 西山秀昌, 新国 農, 田中 礼, 小山純市, 五十木裕子, 林 孝文: 閉口末期の閉口障害のMRI所見. NPO 法人日本歯科放射線学会第12回臨床画像大会, 柏市, 2007年10月18-20日。
 - 20) 平 周三, 林 孝文, 西山秀昌, 新国 農, 斎藤美紀子, 田中 礼, 小山純市, 勝良剛詞: 口腔癌の転移リンパ節診断における組織弾性イメージング (Real-Time Tissue Elastography) の臨床応用. NPO 法人日本歯科放射線学会第12回臨床画像大会, 柏市, 2007年10月18-20日。
 - 21) 勝良剛詞, 斎藤美紀子, 伊藤加代子, 船山さおり, 五十嵐敦子, 林 孝文: 唾液分泌低下症において pulse Doppler 所見は何を表しているのか. NPO 法人日本歯科放射線学会第12回臨床画像大会, 柏市, 2007年10月18-20日。
 - 22) 小山純市, 西山秀昌, 平 周三, 勝良剛詞, 斎藤美紀子, 田中 礼, 新国 農, 林 孝文: 下顎への移植腸骨に再発したエナメル上皮腫の1例. NPO 法人日本歯科放射線学会第12回臨床画像大会, 柏市, 2007年10月18-20日。
 - 23) 平 周三, 林 孝文, 西山秀昌, 星名秀行, 新垣 晋, 石田 均, 間島寧興: 口腔顎顔面領域の FDG-PET 検査における 2D 撮像の有用性. 第47回日本核医学会学術総会, 仙台市, 2007年11月4-6日。
 - 24) 五十木裕子, 林 孝文, 田中 礼: 犬歯窩部のヘリカルCT所見. 平成19年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2007年11月10日。
 - 25) 勝良剛詞, 斎藤美紀子, 西川幸枝, 後藤早苗, 笹井啓資, 林 孝文: 歯科管理を受けている頭頸部放射線治療後の患者の歯科的健康状態-長期縦断的調査-. 日本放射線腫瘍学会, 福岡市, 2007年12月13-15日。
 - 26) 西山秀昌, 新国 農, 斎藤美紀子, 田中 礼, 平 周三, 小山純市, 勝良剛詞, 竹内由一, 林 孝文: Webカメラを用いた口内法 X線撮影模型実習システムの試作-特にフィルム面の歪補正について-. 日本歯科放射線学会第206回関東地方会, 東京, 2008年1月26日。
- 【研究会発表】**
- 1) 平 周三: 口腔顎顔面領域における FDG-PET 検査の有用性. 第4回新潟PET画像診断研究会, 新潟市, 2007年3月24日。
 - 2) 平 周三, 林 孝文, 西山秀昌, 星名秀行, 新垣 晋, 鈴木 誠, 石田 均, 間島寧興: 口腔顎顔面領域における FDG-PET 検査の SUV 値について. 第35回新潟核医学懇話会, 新潟市, 2007年4月21日。
 - 3) 勝良剛詞, 斎藤美紀子, 西川幸枝, 後藤早苗, 笹井啓資, 林 孝文: 歯科管理を受けている頭頸部放射線治療後の患者の歯科的健康状態-長期縦断的調査-. NPO 法人日本歯科放射線学会第48回学術大会・第21回放射線治療懇話会, さいたま市, 2007年5月10日。
 - 4) 林 孝文, 新国 農, 斎藤美紀子, 田中 礼, 小山純市, 平 周三, 勝良剛詞, 西山秀昌: 交感神経幹上頸神経節の画像所見. 第20回頭頸部放射線研究会, 名古屋市, 2007年10月25日。
- 摂食・嚥下リハビリテーション学分野**
- 【論文】**
- 1) Amarasena J, Amarasena N, Yamada Y: Role of Oral Mucosa in the Detection of Different Sizes of Objects in a Group of Young Adults. J. Oral Biosci, 49(4): 286-291, 2007.
 - 2) Miyaoka Y, Ashida I, Kawakami S, Miyaoka S, Igarashi A, Yamada Y: Aging-related influences on activity patterns in the suprahyoid muscles during swallowing; preliminary analysis. J Sens Stud, 22:394-402, 2007.

- 3) Yoshii F, Ayabe-Kanamura S, Hagiwara H, Yamada Y, Kubota K, Takano K: Similarity of odor qualities and similarity of molecules -Examples of molecules that contain a cis-type carbon-carbon double bond or a thioether moiety-. NSR.O.. 58(1):57-69, 2007.
- 4) Sadakata M, Yamada Y; Perception of Foot Temperature in Young Women with Cold Constitution: Analysis of Skin Temperature and Warm and Cold Sensation Thresholds. J Physiol Anthropol, 26: 449-457, 2007.
- 5) Inagaki D, Miyaoka Y, Ashida I, Ueda K, Yamada Y: Influences of body posture on duration of oral swallowing in normal young adults. J Oral Rehabil, 34(6):414-21, 2007.
- 6) Kitagawa J, Shingai T, Kajii Y, Takahashi Y, Taguchi Y, Matsumoto S: Leptin modulates the response to oleic acid in the pharynx. Neuroscience Letters, 423: 109-112, 2007.
- 7) Honma M, Okada A, Nomura S, Inoue M and Yamada Y: Relation between Bolus Size and Hyoid Movement during Normal Ingestion in Humans. J Oral Biol Sci. Vol. 49. No. 3: 180-189, 2007.
- 8) Tamaki A, Ito K, Toyosato A, Nomura S: The Effect of Professional Oral Health Care Frequency on the Dependent Elderly., 6(4): 232-238, 2007.
- 9) Igarashi A, Ito K, Funayama S, Hitomi Y, Ikui A, Ikeda M, Nomura S: The salivary protein profiles in the patients with taste disorders; The comparison of salivary protein profiles by two-dimensional gel electrophoresis between the patients with taste disorders and healthy subjects., Clin Chim Acta., 388(1-2): 204-206, 2008.
- 10) Kudo M, Mishima R, Yamamura K, Mostafaezur R, Zakir H, Kurose M, Yamada Y: Difference in physiological responses to sound stimulation in subjects with fear and subjects without fear of dental treatments. Odontology, (in press).
- 11) 熊坂隆行, 升 秀夫, 川上嘉明, 光石智子, 長谷川由希恵, 菅野裕子, 白井明子, 行木ユキ江, 恩田絵里, 笠原かすみ, 齊藤利章, 坂本 敏, 山田好秋: HAB (ヒューマン・アニマル・ボンド, 人と動物の絆) 研究 特別養護老人ホームでの動物介在実習前後における動物看護科学生の「気分」の変化. Animal Nursing, 12 (1) : 64-68, 2007.
- 12) 五十嵐敦子, 伊藤加代子: ドライマウス, 更年期と加齢のヘルスケア, 6 (1), 152-157, 2007.
- 13) 梶井友佳, 田口 洋, 野田 忠: 本学小児歯科外来における 25 年間の初診患者実態調査—1980, 1988, 1996, 2004 年の比較—. 小児歯誌, 45 (3) : 384-392, 2007.
- 14) 安達大雅, 大瀧祥子, 井上 誠, 山田好秋: 食道入口部開大不全に対して手術とリハビリテーションを行い経口摂取に至った一例. 新潟歯学会誌, 37 (2) : 29-32, 2007.
- 15) 杉野伸一郎, 谷口裕重, 塚田 徹, 大瀧祥子, 梶井友佳, 山田好秋, 井上 誠: 姿勢や食塊の違いがヒトのオトガイ舌筋の筋電図活動に与える影響. 顎機能誌, 14 : 13-23, 2007.
- 16) 江川広子, 別府 茂, 山村千絵, 黒瀬雅之, 八木 稔, 山田好秋: 介護食の提供実態調査について -新潟市の介護保険施設入所者の場合-. 日咀嚼誌, 17 (1) :16-25, 2007.

【著書】

- 1) 山田好秋: 第3章 咀嚼とは何か, 3.1 咀嚼時の食物動態, 3.3.4 咀嚼運動中の顎反射の変調. 咀嚼の事典 (井出吉信 編) 41-47 頁 61-62 頁, 朝倉書店, 東京, 2007.
- 2) 山田好秋: 基礎編 2 章 摂食・嚥下機能の生理. 摂食・嚥下リハビリテーション 第2版 (才藤栄一 編), 51-61 頁, 医歯薬出版, 東京, 2007.
- 3) 山田好秋: 第13章 口腔生理学総論, 第22章 嚥下. 基礎歯科生理学 第5版 (森本俊文, 山田好秋 編) 271-278 頁 383-397 頁, 医歯薬出版, 東京, 2007.
- 4) 井上 誠: 基礎編 3 章 摂食嚥下のメカニズム②, 4 章 摂食・嚥下を支える機能①, ④, ⑤, ⑥. 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学 (向井美恵, 山田好秋編). 編集, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2007.
- 5) 伊藤加代子: 基礎編 4 章 摂食・嚥下を支える機能②, ③. 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学 (向井美恵, 山田好秋編). 編集, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2007.
- 6) 大瀧祥子: 付: 障害への対処例 2. 神経疾患による摂食・嚥下障害者への対処例 (向井美恵, 山田好秋編). 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学. 編集, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2007.
- 7) 大瀧祥子: Chapter2 摂食・嚥下のメカニズム (構造・機能) と成長に伴う構造の変化 (北住映二, 尾本和彦, 藤島一郎編著). 子供の摂食・嚥下障害, 11-26 頁, 永井書店, 大阪, 2007.

【商業誌】

- 1) 山田好秋: 1 から学ぶ! 口腔機能向上に必要な基

礎知識 運動機能編 機能とは何か? (解説). デンタルハイジーン 28 (1): 76-80, 2007.

- 2) 谷口裕重, 井上 誠: ALSにおける摂食・嚥下障害の評価および対応法. 難病と在宅ケア 7月号 2007.
- 3) 大瀧祥子: 食べる機能の神経制御, 食べる機能の障害と栄養ケア 摂食嚥下の仕組みから口腔ケアまで. 臨床栄養 9月号臨時増刊 Vol. 111 (4): 420-428, 2007.
- 4) 大瀧祥子: 多系統委縮症患者の摂食・嚥下障害とその対応. 難病と在宅ケア 11月号 Vol. 13, No.8: 56-59, 2007.
- 5) 伊藤加代子: 食べこぼしを防ぐケアは家庭でできますか?. クリニック Q&A, 2008 冬号, 12-13, 2007.

【研究成果報告書】

- 1) 山田好秋 (研究代表者): 嚥下障害解明に向けた基礎的研究: 嚥下誘発における覚醒・睡眠の影響. 平成 19 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究 (A) 課題番号 18209056, 2007.
- 2) 山田好秋 (研究代表者): 嚥下に対するうま味の影響. 平成 19 年度共同研究, 2007.
- 3) 山田好秋 (研究代表者): 摂食・嚥下障害の程度と介護食のマッチング改善に向けた介護現場での実態調査. 平成 19 年度 8020 研究事業, 2007.
- 4) 山田好秋, 山村健介: 義歯装着状況と摂食可能な米菓の硬さの関係. 平成 19 年度共同研究, 2007.
- 5) 井上 誠 (研究分担者): 食の高付加価値化に資する基盤技術の開発. JST 地域結集型研究開発プログラム, 2007 (継続).

【講演】

- 1) 山田好秋: 歯・咀嚼と QOL. 第 27 回日本医学会総会, 大阪, 2007.4.6-8.
- 2) 井上 誠, 山田好秋: 摂食・嚥下障害患者への臨床的アプローチと食品との関わり, FOOMAJAPAN, 東京, 2007 年 6 月 8 日.
- 3) 山田好秋: 咀嚼と脳研究手法に関する最近のトレンド. 第 18 回日本咀嚼学会学術大会, 大阪, 2007.8.26, 第 18 回日本咀嚼学会学術大会プログラム・抄録集: 16, 2007.
- 4) 山田好秋: 歯科基礎医学会の現状と将来. 第 49 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 札幌, 2007.8.29-31, J. Oral Biosci, 49 Suppl. Page 75, 2007.

【学会】

- 1) Matsuki T, Ito K, Masumi S: Questionnaire for oral

health in women, The 2nd World Congress on Gender Specific Medicine, Vienna, 2007.6.2-3.

- 2) 田巻元子, 井上 誠, 大瀧祥子, 山下 庸, 谷口裕重, 山田好秋: 摂食・嚥下リハビリテーション室開設後の活動報告 - 平成 18 年の取り組み. 平成 19 年度新潟歯学会総会, 2007 年 4 月 14 日, 新潟歯学会誌, 37 (1), 71 頁, 2007 年.
- 3) 杉野伸一郎, 塚田 徹, 谷口裕重, 井上 誠, 山田好秋: 嚥下時オトガイ舌筋の筋電図記録. 平成 19 年度新潟歯学会総会, 2007 年 4 月 14 日, 新潟歯学会誌, 37 (1), 72 頁, 2007 年.
- 4) Kobayashi H, Hayashi Y, Yamada Y: Effects of Heat Treatment and Polishing on Fatigue Strength of Cast Occlusal Rests Using Ag-Pd-Cu-Au Alloy. 日本補綴歯科学会第 116 回学術大会, 神戸, 2007 年 5 月 18 - 20 日, 日本補綴歯科学会第 116 回学術大会プログラム・抄録集: 269, 2007.
- 5) 山岸直也, 小島正樹, 林 豊彦, 中村康雄, 中嶋新一, 井上 誠: 自律顎運動シミュレータ JSN/3A における歯根膜咬筋反射機能の再現, ME とバイオサイバネティクス研究会, 2007 年 5 月 25 日, 富山大学, 富山市. 抄録: 信学技法, vol.107 NO.72, MBE2007-7, pp.25-28, 2007-05.
- 6) 伊藤加代子, 船山さおり, 井上 誠, 山田好秋: 要介護高齢者の口腔ケアにおける保湿剤の効果について, 新潟歯学会誌, 37 (2), 62 頁, 2007 年.
- 7) 林 頼雄, 山田好秋, 小林 博, 宮川 修: 研磨による金銀パラジウム合金鑄造咬合面レストの疲労特性の改善. 平成 19 年度新潟歯学会第 1 回例会, 2007 年 7 月 14 日, 新潟歯学会雑誌, 37 (2): 64 頁, 2007.
- 8) 安達大雅, 大瀧祥子, 井上 誠, 山田好秋: 食道入口部開大不全に対して手術とリハビリテーションを行い経口摂取に至った一例. 平成 19 年度新潟歯学会第 1 回例会, 2007 年 7 月 14 日, 新潟歯学会誌, 37 (2): 63 頁, 2007 年.
- 9) 塚田 徹, 谷口裕重, 井上 誠, 杉野伸一郎, 山田好秋: 食品や姿勢の違いが嚥下機能に与える影響. 平成 19 年度新潟歯学会第 1 回例会, 2007 年 7 月 14 日, 新潟歯学会誌, 37 (2), 63 頁, 2007 年.
- 10) Mostafeezur, R., Yamamura, K., Kurose, M., Zakir, H., Inoue, M. and Yamada, Y.: Mastication-induced modulation of the JOR in awake rabbits. 平成 19 年度新潟歯学会第 1 回例会, 2007 年 7 月 14 日, 新潟歯学会誌, 37 (2), 64 頁, 2007 年.
- 11) 船山さおり, 伊藤加代子, 人見康正, 五十嵐敦子: くちのかわき外来における甲状腺疾患を有する症例の臨床的検討, 第 17 回日本口腔粘膜学会, 東京, 2007 年 7 月 5 日.

- 12) 伊藤加代子, 高野尚子, 葭原明弘, 山田智子, 高頭静夫, 石上和男, 宮崎秀夫: 高齢者の口腔機能における嚥下・オーラルディアドコキネシス測定器の開発, 第18回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会, 富山, 2007年8月4日.
- 13) 高橋肇, 山村健介, 伊藤彰, 泰羅雅登, 山田好秋: 硬さの異なる米菓を用いた動的咀嚼力測定. 第18回日本咀嚼学会学術大会, 大阪, 2007年8月25 - 26日, 第18回日本咀嚼学会学術大会プログラム・抄録集: 50, 2007.
- 14) 江川広子, 別府茂, 山村千絵, 黒瀬雅之, 八木稔, 山田好秋: 食事介助支援資料の評価調査について「在宅介護の食事介助マニュアル・基礎編」のアンケート調査結果報告. 第18回日本咀嚼学会学術大会, 大阪, 2007年8月25 - 26日, 第18回日本咀嚼学会学術大会プログラム・抄録集: 56, 2007.
- 15) 山村健介, 高橋肇, 黒瀬雅之, Hossain MD Zakir, 山田好秋: 形状の異なる米菓の口腔内タスク時の大脳皮質血流変化. 第18回日本咀嚼学会学術大会, 大阪, 2007年8月25 - 26日, 第18回日本咀嚼学会学術大会プログラム・抄録集: 49, 2007.
- 16) 黒瀬雅之, 山村健介, Zakir H, Rahman M, 井上誠, 吉田教明, 前田健康, 山田好秋: 自由運動下のマウスを用いた咀嚼運動パターンの解析. 第49回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 札幌, 2007年8月29 - 31日, J. Oral Biosci, 49 Suppl. Page 117, 2007.
- 17) 福原孝子, 井上誠, 大瀧祥子, 谷口裕重, 安達大雅, 柴田佐都子, 梶井友佳, 山田好秋: 摂食・嚥下リハビリテーション室のあゆみ. 第一報: 平成18年の取り組み. 第13回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 埼玉, 2007年9月14 - 15日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 11(3): 265頁, 2007年.
- 18) 山本真也, 谷口裕重, 井上誠, 山田好秋: 摂食時における開口反射の変調. 第13回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 埼玉, 2007年9月14 - 15日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 11(3): 269頁, 2007年.
- 19) 柴田佐都子, 大瀧祥子, 井上誠, 山田好秋: 多系統萎縮症(MSA)における口腔機能障害の特徴. 第13回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 埼玉, 2007年9月14 - 15日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 11(3): 276頁, 2007年.
- 20) 谷口裕重, 井上誠, 大瀧祥子, 梶井友佳, 福原孝子, 柴田佐都子, 山田好秋: 新潟大学医歯学総合病院摂食・嚥下リハビリテーション室のあゆみ. 第二報: 頭頸部腫瘍術後症例についての検討. 第13回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 埼玉, 2007年9月14 - 15日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 11(3): 277頁, 2007年.
- 21) 塚田徹, 谷口裕重, 井上誠, 山田好秋: 食品物性や姿勢の違いが舌筋活動に与える影響. 第13回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 埼玉, 2007年9月14 - 15日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 11(3): 296頁, 2007年.
- 22) 勝良剛詞, 林孝文, 斎藤美紀子, 五十嵐敦子, 伊藤加代子: 口腔乾燥症の超音波診断, 日本画像医学雑誌, 25(3), 141, 2007年.
- 23) 山岸直也, 小島正樹, 林豊彦, 中村康雄, 中嶋新一, 井上誠: 自律顎運動シミュレータJSN/3Aにおける歯根膜咬筋反射機能の再現. 第28回バイオメカニズム学術講演会, 2007年11月7日-10日, 岐阜大学, 岐阜市. 抄録: 第28回バイオメカニズム学術講演会SOBIM2007講演予稿集, pp.57-60, 2007-11.
- 24) 別府茂, 江川広子, 八木稔, 山田好秋: 全国の介護保険施設における食事形態実態調査. 平成19年度新潟歯学会第2回例会, 2007年11月10日, 新潟歯学会雑誌, 37(2): 74頁, 2007.
- 25) 平野秀利, 山田好秋: 電子式関節可動域計測記録支援システムの構築 - 三次元3自由度肩関節可動域測定装置の試作 -. 平成19年度新潟歯学会第2回例会, 2007年11月10日, 新潟歯学会雑誌, 37(2): 75頁, 2007.
- 26) 伊藤加代子, 船山さおり, 井上誠, 山田好秋: 要介護者における保湿剤の効果について, 第4回日本口腔ケア学会, 名古屋, 2007年11月17日.
- 27) 伊藤加代子, 高野尚子, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 高齢者の口腔機能の基準値作成に向けた基礎調査, 第4回日本口腔ケア学会, 名古屋, 2007年11月17日.

【研究会】

- 1) 山田好秋, 井上誠: 摂食・嚥下障害患者への臨床的アプローチにおける食品の重要性と可能性: FOOMA JAPAN2007 アカデミックプラザ, 東京, 2007年6月5 - 8日.
- 2) 大瀧祥子: 暮らしに位置づける口腔ケア - それぞれの健康を目指して - 中越病院歯科協議会講演会, 長岡, 2007年6月13日.
- 3) 井上誠: 摂食・嚥下機能とその障害, 国立病院機構新潟病院勉強会, 柏崎(国立病院機構新潟病院), 2007年7月13日.
- 4) 井上誠: 顎運動および筋電図検査法 筋電図を用いた嚥下運動の記録法, 第5回顎口腔機能セミナー,

岐阜, 2007年8月28日.

- 5) 井上 誠: 嚥下障害の基礎と臨床: 脳外科看護師会, 新潟(新潟大学医歯学総合病院), 2007年10月13日.
- 6) 井上 誠: 摂食嚥下障害の評価と訓練, 西新潟病院 摂食機能向上プロジェクト, 新潟(西新潟中央病院), 2007年10月29日.
- 7) 伊藤加代子: 歯科領域と更年期女性, 第6回更年期と加齢のヘルスケア研究会, 東京, 2007年11月3日.
- 8) 梶井友佳: 一生おいしく食べるために一ブラッシングの必要性と方法一. 長岡市立養護学校保健委員会講演会, 長岡, 2007年11月28日.
- 9) 松木貴彦, 伊藤加代子: 平成17年歯科疾患実態調査からわかった口腔の性差について, 第1回性差医療医学会, 東京, 2008年2月9日.
- 10) 山田好秋: 噛むことと食べることをみんなで考えよう. 第3回九州矯正歯科学会学術大会併設市民フォーラム, 長崎, 2008.3.1.
- 11) 井上 誠: 多目的デジタルエックス線テレビ装置, 第9回新潟大学シリーズ講演会, 新潟, 2008年3月10日.

【学会賞】

- 1) 宮嶋晃子, 林 豊彦, 中村康雄, 中嶋新一, 小林 博, 山田好秋: バイオメカニズム学会論文賞. 自律運動シミュレータ JSN/2C の咀嚼運動シミュレータとしての基本性能評価.

【その他】

- 1) 山田好秋, 江川広子, 別府 茂, 山村健介, 黒瀬雅之: 解説用ハンドブック 食事介助の基礎知識. 2007.
- 2) 井上 誠: 口から食べること, 創造 33, 17-19, 2007年.
- 3) 井上 誠: 「食べることの大切さ」とは「食べるのできないつらさ」, 日本生理学会雑誌, 69 (9), 2007年.
- 4) 高橋 肇, 山村健介, 伊藤 彰, 山田好秋: 硬さの異なる米菓を用いた動的咀嚼力測定. 第18回日本咀嚼学会学術大会, 咀嚼能力体験コーナー, 大阪, 2007年8月25-26日.
- 5) 伊藤加代子: 新潟市保健所: 口腔機能向上事業の基礎知識と事業効果について, 新潟市, 2007年8月27日.
- 6) 伊藤加代子: 新潟県歯科医師会: QOLの向上を目指して~ドライマウス, 味覚障害を中心に~, 村上市, 2007年8月30日.
- 7) 山田好秋, 井上 誠: これからの非常食・災害食のために, 新潟大学地域連携フードサイエンスセンターシンポジウム, 新潟(新潟市民プラザ), 2007

年9月2日.

- 8) 伊藤加代子: 新潟市保健所: かむ・のみこむ・スマイルパワーアップセミナー, 坂井輪地域保健福祉センター, 2007年10月1日.
- 9) 井上 誠: いつまでもおいしく, 安全に食べたい, 食の見本市, 新潟(朱鷺メッセ), 2007年10月26-28日.
- 10) 伊藤加代子: 新潟市保健所: かむ・のみこむ・スマイルパワーアップセミナー, 西区役所, 2007年11月6日.
- 11) 伊藤加代子: くちのかわき・味覚障害・お口の体操・要介護高齢者の口腔ケア, テレビのお医者さん. テレビ UX, 2007年8月9日-11月15日.
- 12) 井上 誠: 嚥下障害, テレビのお医者さん. テレビ UX, 2007年10月25日.
- 13) 伊藤加代子: 新発田保健所: 要介護者の口腔の健康のために, 口腔ケア研修会, 新発田市, 2007年11月22日.
- 14) 井上 誠: 健康への取組 いつまでもおいしく食べたい-摂食・嚥下障害への取り組み-. アグリビジネス創出フェア, 東京国際フォーラム, 2007年11月27, 28日.
- 15) 井上 誠: 摂食・嚥下とりハビリテーション, 新潟大学医歯学総合病院歯科Ns勉強会, 新潟(新潟大学歯学部), 2007年12月12日.
- 16) 井上 誠: 当院における摂食・嚥下とりハビリテーションの取り組み, 新潟大学医歯学総合病院第3回リハビリテーションセミナー, 新潟(新潟大学医歯学総合病院), 2008年1月30日.
- 17) 井上 誠: 摂食・嚥下とりハビリテーション2, 新潟大学医歯学総合病院歯科Ns勉強会, 新潟(新潟大学歯学部), 2008年2月20日.
- 18) 伊藤加代子: ドライマウス&味覚障害, CARREL, 161:46, 2007.

歯科侵襲管理学分野

【著書】

- 1) 染矢源治: ユニット13口腔領域の神経疾患と治療 「シナリオで学ぶチュートリアル歯科麻酔」(住友雅人 他編), 193~210頁, 第1版, 医歯薬出版, 東京, 2007.4
- 2) 瀬尾憲司: 帯状疱疹後神経痛 (post herpetic neuralgia) pp28-29, 2007年, 歯科医師のための口腔顔面痛ハンドブック「その痛みはこの処方」, 監修: 仲西 修, 編集: 椎葉俊司, 永末書店(京都市)
- 3) 瀬尾憲司: 劇画で見る, これだけはやってほしい, 歯科医院の緊急対処, 医歯薬出版(東京都) 86ページ, 2007年5月.